

---

## 札幌大学事務局で情報漏洩対策システムを導入しました

---

昨今、職場内でのPCから、情報の紛失、盗難、漏洩が発生し社会問題化しています。

札幌大学では、学生や卒業生の個人情報等、大学事務局が管理する情報は許可なく大学事務局の外部に持ち出さないことを基本原則としています。しかし、急速な情報ネットワーク社会の発展に対して、個人のモラルに頼むだけでは情報を守りきれない側面もあります。

こうした背景を踏まえ、大学事務局では、平成18年5月からワーキンググループを発足させ、**情報セキュリティ強化**対策について検討してきました。

検討の結果、新たに情報漏洩対策のシステムを導入し、大学外との間で業務上必要とする情報のやり取りの際には、情報ファイルの暗号化の実施を決定しました。これにより、不用意な漏洩、メールの誤送信、盗難や紛失等による第三者への情報漏洩を防止します。

大学事務局が使用している事務局サーバーとPC約150台に保存される大学基本情報、学生や卒業生の個人情報等が対象となります。情報漏洩対策システムは、この分野をリードしてきた日立ソフトが提供する「秘文」システムを採用しました。平成19年8月に導入し、12月中旬から正式運用を開始しています。

情報セキュリティ対策の検討・実施については時代の要請とともに、今後も積極的に継続して取り組んでいきます。